

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情 宣 部

コストダウンを名目にした

本来業務と安全・命を蔑ろにする沿線作業反対!!

除草作業から命を守る

触車事故防止学習会

日程 7月5日(月)・6日(火)・7日(水)

各日 18時30分～ 高崎市労使会館

内容 ① 主催者挨拶

② 触車事故防止学習【講師 工務部会】

③ 質疑応答



※他の地域での開催については、追って連絡します。

会社は、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」を提案し、駅・乗務業務の融合、柔軟な働き方のイメージにおける活躍フィールドの拡大として「除草・除雪等」を盛り込んできました。これまで「除草・除雪等」業務は、会社の効率化・要員削減を目的に協力会社等へ外注化されてきましたが、今施策ではコロナ禍での委託費削減を目的として、本体社員が「除草・除雪等」を業務として従事することを謳っています。

昨年9月、高崎車両センターと新前橋運輸区、桐生保線技術センターの合同で行われた「両毛線沿線での除草作業」では、営業線に近接する範囲にも関わらず、TC列警や安全靴などの装備に不備がありながらも、除草作業を業務指示として行わせました。

柔軟な働き方施策の実施前から実施されている除草作業に対して、「除草作業から命を守る」ことを目的として『触車事故防止学習会』を開催していきます。